

- タウン情報 -

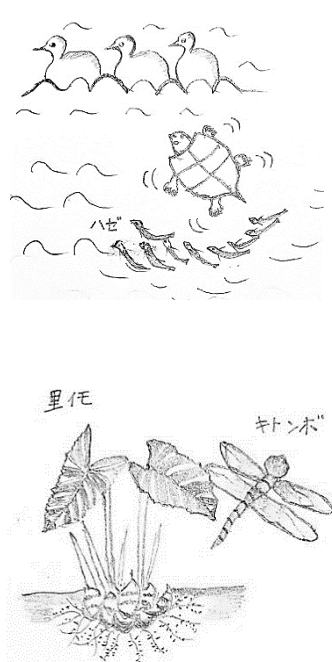
きくがわ

2023年10月

Vol. 185



夏祭りも4年ぶり！左が加見地区、右が富岡地区の様子です。



菊川日和

毎日が猛暑日の夏、早朝七時半、大根姉妹のババ友二人、日傘、うちわ、線香、虫さされの薬を持って菊川公園をめざす。公園の中を通り新内谷橋へと向かう。橋の中ほどの欄干から下をのぞいた相棒の第一声「よいっっちゃあこりゃあ、どうかね、川の水がブチ少ないよ」「なんね、水が少ない」のぞきこむと水は少ないし何もいない。

この前いた鯉たちは、上流の内谷橋の方に行ったのかも。鯉のいた場所にはいずから流れ付いたのか里芋が群生している。「おでんに入れたらおいしよね」「それいね」「あつ亀が」黒い亀を発見、亀の周りに小魚(ふなとはぜ)が泳いでいるし、キトンボの飛ぶ中、スイスイと泳いでいる白い鯉と三羽の鴨も。「菊川の水も、少ない様に異常気象の今年の夏は蛙の鳴き声も、うるさいほど聞かなかったね。帰りは駄菓子屋さん(みかさ屋)の方から帰ろうか」「ええよ、熱中症になる前に帰ろうや」と、とし子さん。ヤレ、ヤレ、ヤレ、ヤレ、ヤレ。

菊川日和



タウン情報 きくがわ (185号) 2023年10月1日発行
発行/住みよい菊川をつくる会 問合せ/菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146
☎0834-62-2801 ✉kiku-ko@city.shunan.lg.jp

菊川のペット

おとくん (3才 / 男の子)



イヌ派だった我が家にやってきて半年、今では欠かせない大切な家族の一員です。元気に楽しく過ごそうね。

数字で見る菊川 (8月末の人口等)

世帯 3,381 世帯 / 人口 7,871 人
男 3,874 人 / 女 3,997 人



菊川市民センターからのお知らせ

● ギターを譲ってください！！

“持っているけど、倉庫にしまっばなしだ”
“もう弾かないので処分したい”
よかったらそのギター、菊川市民センターへ譲っていただけませんか？

<条件>

- ・ アコースティックギターであること
(クラシックギターやエレキギターは要相談)
- ・ 演奏ができる状態のもの
(多少のキズや軽度の破損は可)
- ・ 市民センターへ寄贈いただけること

※ある程度の本数が集まった場合、小学生や中学生を対象とした簡単なギター教室等を企画する予定です。

◎お問合せは、菊川市民センター
(62-2801) まで!



【イベント案内】

- 10/15(日) 下上地区 運動会
加見地区 運動会
- 10/21(土) 菊川小学校 運動会
- 11/5(日) 小畑地区 運動会
- 11/19(日) 第41回菊川まつり
- 12/2(日) ふるさとウォーク 小畑編



菊川のひと

下上地区 自主防災・防犯協議会

山本 敦照 さん

今回は、下上地区自主防災・防犯協議会で会長をさせていただき、今年は久しぶりに実施しようかと考えている山本さんにインタビューしました。



・下上地区 自主防災・防犯協議会とはどのような組織ですか？

地域において、自助・共助・公助のうち「共助」を担う組織です。共助とは、「地域は地域のみならず守る」ということです。平成十八年に発足し、現在は十六人の役員で運営しています。

「地震・津波・洪水・土砂崩れ・火災・テロなど」を想定しており、災害や犯罪防止のための広報や啓蒙活動、災害時の避難誘導や避難所運営の補助活動など、防災の後方支援を役割としています。具体的には、

AED・救急救命講習会の開催、防災訓練の実施、洪水ハザードマップの説明会、防災研修の実施、見守り隊員の募集、防犯・交通安全会の開催、学校安全マップ作製の協力などもしています。また、菊川小学校にある防災倉庫の管理もしています。

三年前に実施した防災訓練では、七十八名の参加がありました。

岩手県釜石市の中学生が、津波を経験して発した言葉で「百回逃げて、百回来なくても、百一回目も必ず逃げて」というものがあります。この言葉をモットーに私達は活動しています。菊川地区に指定避難場所は九カ所ありますが、自分の身は自分で守るための判断をすることが大切です。このことを家族で話し合ってみてください。

それと、しゅうなんメールサービスの登録をお願いします。これに登録すると、市から最新の災害・防災情報を受信することができます。その他避難所の開設等、分からないことがあれば、菊川市民センター(6|2|2801)に問い合わせしてみてください。

夏休みこども教室 開催

菊川市民センターにて、夏休み子ども教室が開催されました。今年度は、全4講座の開催で、のべ100人の子どもたちの参加がありました。菊川地区で活動する団体さんが講師を務める「陶芸教室」と「木工教室」は今年も開催、それに加え、新南陽高校美術部を講師に迎えた「絵画教室」、そして、子どもたちの自主学習室「菊川寺子屋」が4年振りに復活しました。

7/24(月)陶芸教室 講師:菊川陶芸教室

令和2年度からスタートした陶芸教室、今年度で4度目の開催です。講師は、菊川市民センター定期利用団体の菊川陶芸教室さん。今回は、お皿と鯉のぼりの置物を作りました。子どもたちは、慣れない作業に最初は悪戦苦闘していましたが、徐々にコツをつかみ、素晴らしい作品を作りました。後日、講師の方々によって、素焼き・釉薬掛け・本焼きを行い、菊川市民センターで作品の受け渡しを行いました。



7/25(火)~28(金)31(月)菊川寺子屋

菊川寺子屋は、原則出入り自由とし、自身のペースで学習に取り組める自主学習室です。今年度は、学習のサポーターとして、菊川中学校の生徒さんが応援に駆け付けました。子どもたちは、中学生のお兄さんとお姉さんにたくさん質問し、時にはおしゃべりもして交流を深めていました。充実した夏休みを過ごすためのスタートダッシュが切れたかな！

8/3(木)木工教室 講師:小畑木エクラブ

小畑市民センターを拠点に活動している小畑木エクラブさん、菊川以外にも周南市内各所で教室を開き、精力的に活動されています。今回子どもたちは、ログハウス風の小物入れづくりに挑戦しました。クギを打って、ボンドでくっつけて、やすりで削る。簡単そうに思えますが、これがなかなか難しい作業なのです。普段なかなか味わえない木工体験に子どもたちも熱中していました。



8/7(月)絵画教室 講師:新南陽高校美術部

絵が得意な高校生たちを講師として迎え、子どもたちの夏休みの宿題をサポートしました。高校生たちは、自らが習得してきた綺麗な色の出し方や色塗りのテクニックを披露し、子どもたちも興味津々！早速それらを取り入れて、自分の作品で実践していました。これで入賞間違いなし！？



菊川小学校にある防災倉庫



防災学習の様子(菊川小学校)